

混沌とした中から

混沌とした中からの休刊とメールマガジン定期発行終了について

「混沌とした中から」は、2004年8月1日の創刊から約4年かかって今回100号を迎えることとなりました。これで、1994年2月1日に創刊した「陸支コ課情報」の50号に始まり、1996年3月1日に創刊した「Hokuriku PC Press」の100号、2000年5月15日にそうかんした「H. P. Report」の100号と14年7カ月にわたり総数350号のメールマガジンを出してきたこととなります。これまでのメールマガジンは100号（最初の陸支コ課情報は50号ですが）を迎えるごとに多少趣を変えることを考えて名称の変更をしながら発行してきましたが、ここで本当に一度発行を休止したいと考えています。最初の「陸支コ課情報」は2週間に一度、そのあとの「Hokuriku PC Press」からは月2回の発行を多少発行が飛んだこともありましたがこれまで14年余りも続けてきて多少疲れたというのが実感です。2004年の8月というのは年齢的に38歳で元気だったのですが、いまはすでに52歳となってしまっています。それを考えると休刊するのかもしれないのかなと考えてはいます。

ちなみにこれまでのメールマガジンの全データはホームページにPDFファイルにして掲載しています。

<http://i-hometown.dyndns.org/magazine/download/Home.html>

もちろんメールマガジンのホームページからもリンクがあります（アクセスカウンタの下にあるのでスクロールしないと出てこないのですが）。

最初の「陸支コ課情報」の当時はまだWindows 3.1の時代でWindows 95のことがWindows 4.0 (Chicago)として紹介してある時代です。内容としても新製品情報などがあり、どちらかといって営業的な内容で、代理店の営業の方々を中心に情報を提供しようとしていたものです。このシリーズのときはPCからモデムを使って直接FAXを出す方法で発行していますので、厳密にはメールマガジンではない時代です。

次の「Hokuriku PC Press」から現在のスタイルに近いものになっています。内容はまだ営業的な新製品情報などが含まれていますが、どちらかといえば1つのテーマについて解説を数回繰り返すという形になっています。メールマガジンとなったのもこの発行からです。

「H. P. Report」の時代になると現在のものとほとんど変わりません。多少PCの世界から離れた特集も一部ありますが、セキュリティについて14回7カ月も連載するなどその時の迷走ぶりが見えます。

最後の「混沌とした中から」はこれも時代の混沌としたものがその特集に見えてくるようです。

年の初めにその年について書き始めたのは「Hokuriku PC Press」の1997年からですが、なかなか予想は全く当たっているわけではありませんが毎年面白がって書いていた覚えがあります。

継続は力です。これを信念として発行してきました。この定期発行を自分に課すことによっていろいろと情報を収集していたのは事実です。これから全く発行しないかは何とも言えません。環境も変わるものですから。

長い間勝手に送ってきたものを受け取っていただきありがとうございました。また次回あればその時まで。 (完)

(今週の情報誌から)

○日経エレクトロニクス 9月8日号

特集 ケータイが迎える種の爆発

→ケータイは周波数帯は3Gを使いながら技術的には次世代の4Gを先取りした3.9GのLTEの通信方式を採用し始める。LTEになることによって最大100Mbpsの通信速度と遅延時間を一桁短縮し、これまでのケータイの固定観念を打ち破るものが登場する。つまりケータイの大進化、種の爆発となる。

○日経パソコン 9月8日号

特集 徹底解剖 だましの手口

→インターネット上にはいろいろなだましのサイトが罠を構えて待っている。ワンクリック詐欺やフィッシング詐欺、オークション詐欺など。ワンクリック詐欺はいかにもこちらの情報が分かっているように脅すがそれに負ける必要はない。フィッシング詐欺は言葉巧みにサイトに呼び込むのでだまされないように十分に注意する必要がある。そっくりなサイトを使うことがあるので注意。オークション詐欺には個人サイトで直接振り込んだりせず仲介サービスを利用するなどの対策が必要。など、その手口を知って対応しなければ。